

5

パソコンとの連携

パソコンと接続する	5-2
データ通信を行う	5-3
USB ドライバのインストール	5-5

本電話機とパソコンを接続する前にインストールするUSBドライバや、本電話機のファームウェア、取扱説明書をダウンロードできます。
また、Q&A（よくあるご質問と回答集）やお問い合わせ先を確認することもできます。

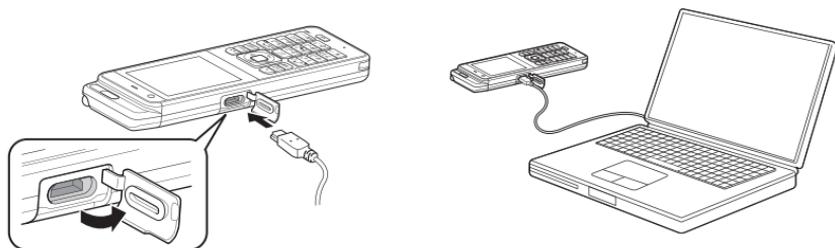
JRCモビリティ PHSサポートサイト
<http://www.jrcphs.jp/>
※このサイトへはパソコンからアクセスしてください。

パソコンと接続する

パソコンと接続する

USBケーブル (Micro USB対応。データ転送 (通信) 対応。別売) で、パソコンと本電話機を接続します。接続する前にUSBドライバをインストールしてください。「USBドライバのインストール」(※5-5ページ)

- 1 パソコンを起動し、パソコンのUSBポートにUSBケーブル (別売) のコネクタを接続する
- 2 本電話機のUSB端子のカバーを外し、USBケーブル (別売) のコネクタ (Micro USB) をUSB端子にまっすぐ差し込む



確認音が鳴り、本電話機の画面に「」が点灯し、「データ通信ON」と表示されます。データ通信が終わったら、USB端子のキャップを閉じてください。

お知らせ

- ・電池パックを外した状態で、本電話機をUSBケーブル (別売) に接続しないでください。
- ・USBケーブル (別売) を外すときは、接続と逆の順序で行ってください。
- ・本電話機からUSBケーブル (別売) を抜くときは、差し込むときと同じようにUSB端子のカバーを押さえて、まっすぐに抜いてください。
- ・本電話機よりUSBケーブル (別売) を外すと、「」が消灯し、「データ通信OFF」と表示されます。
- ・USBケーブル (別売) でパソコンと接続中に、パソコンから充電することもできます。ただし、パソコンの種類によっては、USBケーブル (別売) 経由での充電ができないことがあります。「USBで充電する」(※7-7ページ)
- ・USB充電を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなる場合があります。本電話機の電源を切っても同様に本電話機の電池を消費する場合があります。
- ・ご利用になるOSによっては、最初に接続してドライバのインストールを行ったUSBポート以外のUSBポートに接続した場合、再度ドライバのインストールや設定が必要となる場合があります。
- ・本電話機にUSBケーブル (別売) を接続する時には、パソコンが完全に起動していることを確認してから行ってください。完全に起動する前に接続すると、「USBで充電する」(※7-7ページ) の設定に関係なく「高速」で充電されることがあります。
- ・USBケーブル (別売) のコネクタをUSB端子に接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態では接続しようとすると、USB端子やコネクタの先端部分を破損する恐れがあります。



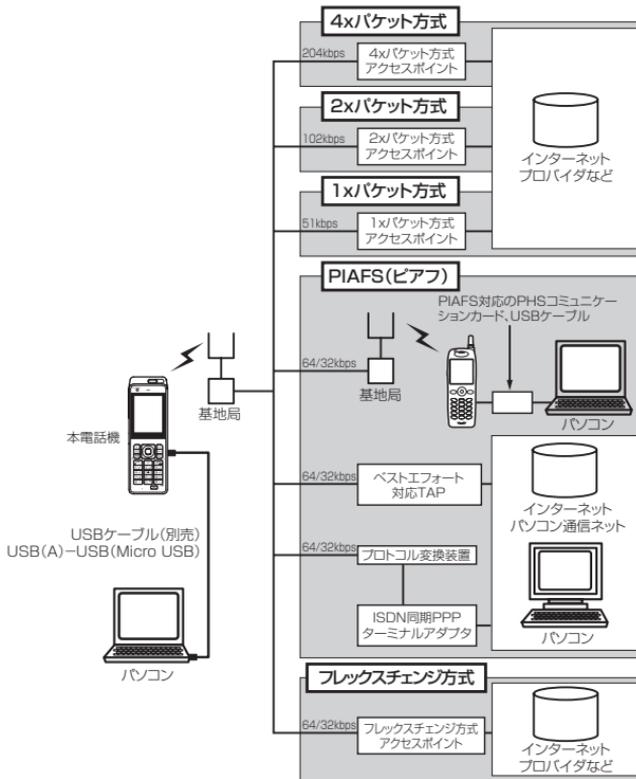
(ACアダプタのコネクタを正面から見た断面図)

データ通信を行う

データ通信について

利用できる通信方式

本携帯電話で利用できるデータ通信には、4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、64kPIAFS（ベストエフォート）、32kPIAFS、フレックスチェンジ方式があります。



■4xパケット方式

ワイモバイルが提供している最大通信速度204kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。

4xパケット方式は、1xパケット通信を4つ束ねることにより、さらにデータ通信速度を向上させています。

数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。

ワイモバイルの4xパケット方式対応の料金コースにお申し込み済みの方は、専用のアクセスポイントに接続してください。

■ 2xパケット方式

ワイモバイルが提供している最大通信速度102kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。

2xパケット方式は、1xパケット通信を2つに束ねることにより、さらにデータ通信速度を向上させています。

数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。

ワイモバイルの2xパケット方式対応の料金コースにお申し込み済みの方は、専用のアクセスポイントに接続してください。

■ 1xパケット方式

ワイモバイルが提供している最大通信速度51kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。

数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。

ワイモバイルの1xパケット方式対応の料金コースにお申し込み済みの方は、専用のアクセスポイントに接続してください。

■ 64kPIAFS方式（ベストエフォート）

ワイモバイルが採用している最大通信速度64kbpsの通信方式です。

基地局の利用状況や電波の状況により、64kbpsと32kbpsの2つの通信速度をフレキシブルに選択し、つながりやすく切れにくい通信環境を実現します。

■ 64kPIAFS方式（ギャランティー）

64kbps固定でのデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できない場合は切断します。

■ 32kPIAFS方式

PHSの通信標準規格で最大速度32kbpsの通信方式です。

PIAFS対応のターミナルアダプタ（TAP）やPHSを用いたアクセスポイントに接続することにより、32kbpsの高速データ通信が可能です。

■ フレックスチェンジ方式

ワイモバイルが提供している最大通信速度64kbpsの通信方式です。通信中のデータ量に従い、「1xパケット方式」と「64kPIAFS（ベストエフォート方式）」を、自動的に切り替え、スムーズな通信環境を実現する通信方式です。

回線使用状況などにより64kPIAFS方式での通信を維持できない場合でも、パケット方式で通信を継続するので、再接続する必要はありません。

ワイモバイルのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにお申し込み済みの方は、専用のアクセスポイントに接続してください。

お知らせ

- パケット方式の速度表記は、PHS高度化通信規格（W-OAM）対応基地局利用時の最大通信速度となります。

USB ドライバのインストール

本電話機とパソコンをUSB ケーブル（別売）で接続して電話帳の編集などを行うことができます。詳しくは、パソコンからサポートWeb サイト（<http://www.jrcphs.jp/>）をご覧ください。

USB ドライバをインストールする

本電話機の対応 OS について

本電話機と接続可能なパソコンの対応OSは以下のとおりです。（2024年5月現在。詳細はサポートWebサイトをご覧ください。）ただし、すべてのパソコンについての動作を保障するものではありませんのであらかじめご了承ください。

Windows	Macintosh
Windows 11 Home Windows 11 Pro Windows 10（32ビット版／64ビット版） Windows 8／8.1（32ビット版／64ビット版） Windows 7（32ビット版／64ビット版）	Mac OS X v10.7 以降

Windows は Microsoft Corporation の、Macintosh、Mac OS は Apple Inc. の登録商標です。

ご注意

- 以下の場合はサポート対象外となりますのであらかじめご了承ください。
 - 自作したパソコンをご使用の場合
 - 対応OSがプレインストールされていないパソコンをご使用の場合
 - OSをアップグレードしたり、OSを入れ替えたパソコンをご使用の場合
 - パソコンのハードウェアとOSとの相性により正常に動作しない場合
 - パソコンの設定や環境によって正常に動作しない場合
 - 増設したUSB端子をお使いの場合
 - USBハブなどを経由して接続している場合
 - パソコンに本電話機以外のUSB機器が接続されている場合
 - USB3.0のポートをご使用の場合

USB ドライバのダウンロード

本電話機とパソコンをUSBケーブル（別売）で接続して電話帳の編集などを行うには、あらかじめ、本電話機用のUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。ドライバは、サポートWebサイトからダウンロードすることができます。ドライバのダウンロード方法はいずれのOSも共通です。

- 1 パソコンのWebブラウザから、サポートWebサイト (<http://www.jrcphs.jp/>) にアクセスする
- 2 ダウンロードページで、301JRのUSBドライバの「Win」をクリックする
- 3 USBドライバ for Windowsで、対応OSの「ダウンロード」をクリックする
- 4 USBドライバの使用許諾契約をよくお読みのうえ「同意する」をクリックする
- 5 「ファイルのダウンロード—セキュリティの警告」画面で「保存」をクリックする
- 6 「名前をつけて保存」画面で、保存するフォルダを選択し、「保存」をクリックする
保存先は、デスクトップなど分かりやすい場所を指定してください。

USB ドライバのインストール (Windows)

USBドライバをインストールする前に、301JR（本電話機）、USBケーブル（別売）、パソコンをご用意ください。USBドライバのインストール方法は、お使いのパソコンのOSによって異なります。

- Windows 10の場合 (☞ 5-7ページ)
- Windows 8 / 8.1の場合 (☞ 5-10ページ)
- Windows 7の場合 (☞ 5-13ページ)

お知らせ

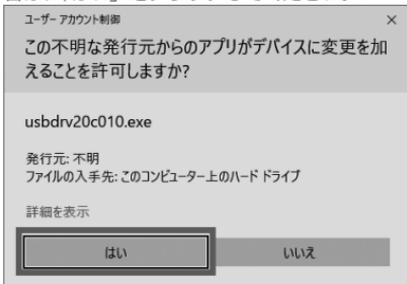
- Windows 11の場合は、ドライバはダウンロードする必要はありません。
(標準ドライバがインストールされ、パソコンで「シリアルデバイス」として認識されます)

本書では、ログイン時のユーザ名が「PHS」、ドライバファイルをデスクトップに解凍した場合を例に説明いたします。

■Windows 10の場合

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れる
- 2 ダウンロードした「usbdrv20c010.exe」を実行し、ドライバファイルをデスクトップに解凍する

「usbdrv20c010.exe」を実行した際に、ユーザーアカウント制御ダイアログが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



64bit版をお使いの場合、手順3へ
32bit版をお使いの場合、手順11へ（※5-8ページ）

- 3 パソコン上のキーボードで「Windows」キーを押しながら「R」キーを押す
- 4 「ファイル名を指定して実行」画面が起動されるので、「shutdown /r /o /t 0」を入力し、「OK」をクリックする



- 5 パソコンが再起動し、下記画面が表示されるので、「トラブルシューティング」をクリックする

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。
パソコンが起動したら、次の手順に進みます。



- 6 「詳細オプション」をクリックする
使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



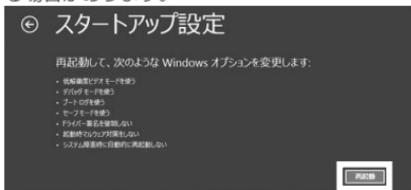
- 7 「スタートアップ設定」をクリックする

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



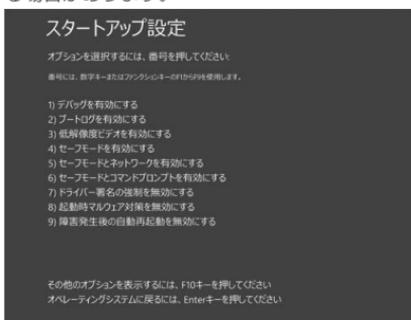
8 「再起動」をクリックする

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



9 パソコンが再起動し、下記画面が表示されるので、「F7」キーまたは「F7」キーを押す

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



10 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

11 パソコン上のキーボードで「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、「デバイスマネージャー」を選択する



12 「USBシリアルデバイス (COM4)」を右クリックし、「ドライバーの更新」をクリックする

COM番号は、お使いのパソコン環境により異なります。



13 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索する」をクリックする



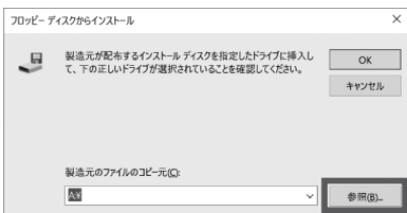
14 「コンピューター上の利用可能なドライバーの一覧から選択します」をクリックする



15 「ディスク使用」をクリックする



16 「参照」をクリックする



17 「デスクトップ」をクリックし、「Jrc」フォルダ、「Modem」フォルダをダブルクリックし、「開く」をクリックする



18 「製造元のファイルのコピー元」が更新されたかどうかを確認し、「OK」をクリックする

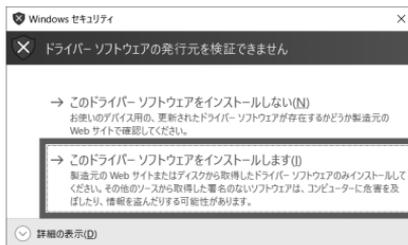


19 モデルに「JRC USB Modem - 20C010」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする



20 「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックする

ドライバーソフトウェアのインストールが開始されます。



- 21 インストールしたドライバが「JRC USB Modem - 20C010」であることを確認し、「閉じる」をクリックする

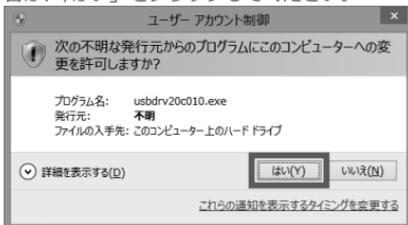


ドライバのインストールが終了します。

■Windows 8 / 8.1 の場合

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れる
- 2 ダウンロードした「usbdrv20c010.exe」を実行し、ドライバファイルをデスクトップに解凍する

「usbdrv20c010.exe」を実行した際に、ユーザーアカウント制御ダイアログが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



64bit版をお使いの場合、手順3へ
32bit版をお使いの場合、手順11へ（[5-11ページ](#)）

- 3 パソコン上のキーボードで「Windows」キーを押しながら「R」キーを押す
- 4 「ファイル名を指定して実行」画面が起動されるので、「shutdown /r /o /t 0」を入力し、「OK」をクリックする



- 5 パソコンが再起動し、下記画面が表示されるので、「トラブルシューティング」をクリックする

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



6 「詳細オプション」をクリックする

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



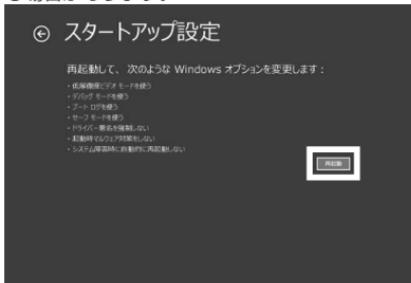
7 「スタートアップ設定」をクリックする

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



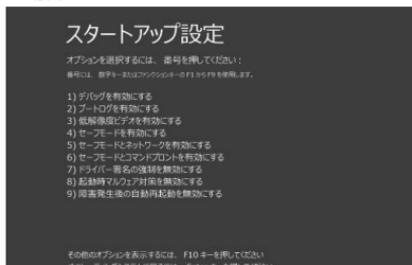
8 「再起動」をクリックする

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



9 パソコンが再起動し、下記画面が表示されるので、「F7」キーまたは「F7」キーを押す

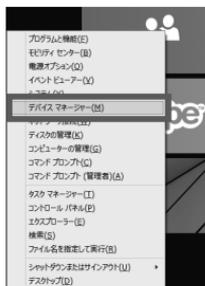
使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



パソコンが起動したら、次の手順に進みます。

10 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

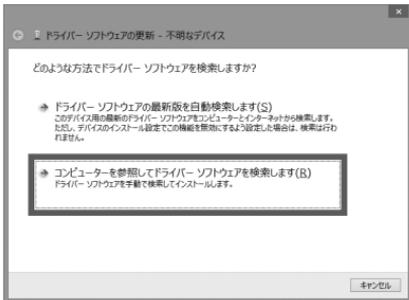
11 パソコン上のキーボードで「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、「デバイスマネージャー」を選択する



12 「不明なデバイス」を右クリックし、「ドライバソフトウェアの更新」をクリックする



13 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックする



14 「参照」をクリックする



15 下記のフォルダを指定し、「OK」をクリックする

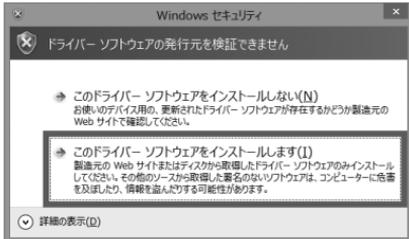


16 「次の場所でドライバーソフトウェアを検索します」が更新されたかどうかを確認し、「次へ」をクリックする



17 「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックする

ドライバーソフトウェアのインストールが開始されます。



18 インストールしたドライバが「JRC USB Modem - 20C010」であることを確認し、「閉じる」をクリックする



ドライバのインストールが終了します。

■Windows 7 の場合

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れる
- 2 ダウンロードした「usbdrv20c010.exe」を実行し、ドライバファイルをデスクトップに解凍する

「usbdrv20c010.exe」を実行した際に、ユーザーアカウント制御ダイアログが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



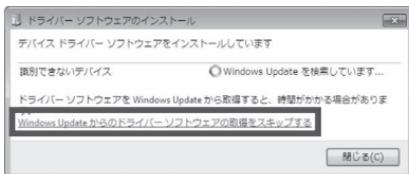
- 3 USBケーブル（別売）で、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」(P5-2ページ)接続を行うと、パソコンのディスプレイに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」が吹き出し表示されます。

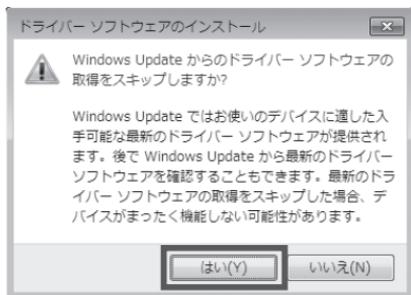
- 4 「ステータスを見るにはここをクリックしてください。」をクリックする



- 5 「Windows Update からのドライバーソフトウェアの取得をスキップする」をクリックする



- 6 確認画面が表示されるので「はい」をクリックする



- 7 「ドライバーが見つかりません。」と表示されたら、「閉じる」をクリックする

お使いの環境によっては、少々お時間がかかる場合がございます。



- 8 パソコンの画面左下の「スタートボタン」をクリックし、「コントロールパネル」をクリックする



9 コントロールパネルの「システムとセキュリティ」をクリックする



10 「デバイスマネージャー」をクリックする



11 「不明なデバイス」を右クリックし、「ドライバソフトウェアの更新」をクリックする



12 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」をクリックする



13 「参照」をクリックする



14 下記のフォルダを指定し、「OK」をクリックする

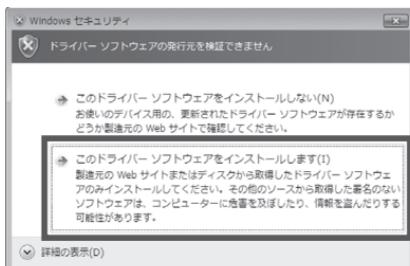


15 「次の場所でドライバーソフトウェアを検索します」が更新されたかどうかを確認し、「次へ」をクリックする



16 「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックする

ドライバーソフトウェアのインストールが始まります。



17 インストールしたドライバが「JRC USB Modem - 20C010」であることを確認し、「閉じる」をクリックする



ドライバのインストールが終了します。

ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更される場合があります。
- COM番号はお使いのパソコン環境により異なります。

USBドライバの設定 (Mac OS)

USBドライバを設定する前に、301JR（本電話機）、USBケーブル（別売）、パソコンをご用意ください。

■Mac OS X v10.7以降の場合

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れる
- 2 ダウンロードした「jrcusb-20A010.zip」を解凍する

モデムスクリプトファイル「JRC USB MODEM - 20A010.ccl」が解凍されます。

- 3 「JRC USB MODEM - 20A010.ccl」を、デスクトップ上の「Macintosh HD※」をダブルクリックし、「ライブラリ」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダにコピーする

※ご使用のパソコンによっては、名前が異なる場合があります。



- 4 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する
- 5 「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、ネットワーク接続サービスのリストから「USBモデム」を選択して「詳細」をクリックする



- 6 「モデム」タブをクリックし、「製造元」プルダウンメニューから「その他」、「機種」プルダウンメニューから「JRC USB MODEM - 20A010.ccl」を選択し、「OK」をクリックする



- 7 ネットワーク設定画面で「適用」をクリックする

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

■Windowsでご利用になる場合 のご注意

Windowsでお使いの場合、通信ソフトやターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブル（別売）を抜くと、パソコンの動作が不安定になることがあります。USBケーブル（別売）を抜いたあとは、10秒ほど時間をおいてから再度USBケーブル（別売）を差し込むようにしてください。

■Macintoshでご利用になる場合 のご注意

Mac OSでお使いの場合、通信ソフトやターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブル（別売）を抜くと、システムの状態が不安定になることがあります。USBケーブル（別売）は、必ずMacintosh側でCOMポートをクローズ（接続断）したあとに抜いてください。また、このような操作を行った場合には、Macintoshを再起動してください。

■サポートWebサイトのお知らせ
インストールがうまくいかない場合には、サポートWebサイトのQ&Aもご覧ください。サポートWebサイト<http://www.jrcphs.jp/>このサイトへはパソコンからアクセスしてください。

■ USBドライバが誤認識された場合の対処法 (Windows)

インストールを中断し、USBドライバが誤認識されてしまった場合は、デバイスマネージャから誤認識された「不明なデバイス」を削除し、再度USBドライバのインストールを行います。

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れ、USBケーブル (別売) で接続する
- 2 デバイスマネージャを表示させる
- 3 「ポート」アイコンの先頭の「+」をクリックする

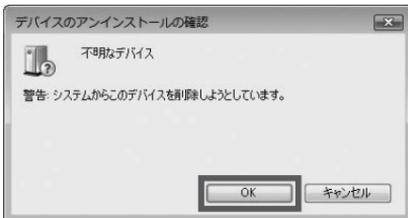
先頭に「！」の付いた「不明なデバイス」が表示されています。



- 4 「不明なデバイス」を右クリックし、「削除」を選択する



- 5 [OK] をクリックする



- 6 「不明なデバイス」が消えていることを確認する



以上の操作のあと、再度USBドライバのインストールを行ってください。

通信方式を設定する

64kPIAFSの選択

64kPIAFS通信の方式を、ベストエフォート型とギャランティー型から選択します。

- 1 待ち受け画面で **5ms** **6ms**
 - 2 **6ms** ▶ **1s** または **2ms**
- **1s** (ベストエフォート型) を押すと
基地局の利用状況や電波の状況により、64kbpsと32kbpsの2つの通信速度がフレキシブルに選択されます。ワイモバイルと公衆サービスの契約をされている場合は、「ベストエフォート型」を選択してください。
 - **2ms** (ギャランティー型) を押すと
通信速度を64kbps固定とします。64kbpsの通信速度が確保できないときには通信を切断します。

お知らせ

- お買い上げ時には、データ通信方式は「ベストエフォート型」に設定されています。ワイモバイルと契約されている場合は「ギャランティー型」をご利用になれません。他の事業者と公衆サービスの契約をされている場合は、各事業者にご確認のうえ、必要に応じて「ギャランティー型」に設定してください。
- オフィスモードで使用する場合は、オフィスシステム (PBX) が対応している方式を設定してください。「オフィスモードで使う」(※8-3ページ)
- 本機能を「ベストエフォート型」に設定している場合でも、アクセスポイントの電話番号の末尾に「##41」が入力されているときは、ギャランティー型で発信します。また「ギャランティー型」に設定している場合、アクセスポイントの電話番号の末尾に「##4」が入力されているときは発信できません。「通信方式の設定」(※同じページ内です。)
- 64kギャランティー型での発信の際、フォルバック機能 (64kbps で通信ができない場合に自動的に32kbpsに通信速度を落としてリダイヤルする機能) には対応していません。

通信方式の設定

本電話機での通信方式の設定とは別にパソコン側で、どのアクセスポイントに接続するかによつて、通信ソフトの設定を変える必要があります。

● パソコンの通信ソフトの設定を変えるには

パソコンなどでアクセスポイントの電話番号を入力するとき、続けて下表の番号を入力します。

アクセスポイント	電話番号に続けて
4xパケット方式*、2xパケット方式*	##64
1xパケット方式*	##61
64kPIAFS (ベストエフォート)	##4
64kPIAFS (ギャランティー)	##41
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式*	##7

発信者番号通知の設定に関係なく本電話機の電話番号がアクセスポイントに通知されますので、あらかじめご了承ください。「発信者番号通知を設定する(番号通知)」(※6-2ページ)

※4xパケット方式、2xパケット方式、1x

パケット方式、フレックスチェンジ方式対応の料金コースをご利用のお客様は、32kPIAFS、64kPIAFSで通信を行う場合、パケットごとの課金ではなく時間で課金されるため、別途料金が発生しますのでご注意ください。

お知らせ

- データ通信を行うための詳しい設定や操作は、お買い求めのパソコン、PDA、通信ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 64kPIAFS方式をご利用になる場合は、「64kPIAFSの選択」(※5-17ページ)もご覧ください。

データ通信で発信する

1 USBケーブル (別売) で接続したパソコンでデータ通信の発信操作をする

通信方式の種別がアイコンと文字で表示され、発信先の電話番号が点滅します。

● 画面に表示される文字とアイコン

通信方式	表示文字	アイコン
4xパケット方式、2xパケット方式	データ通信 パケット	
1xパケット方式	データ通信 パケット	
64kPIAFS (ベストエフォート)	データ通信 64kPIAFS BE	
64kPIAFS (ギャランティー)	データ通信 64kPIAFS GR	
32kPIAFS	データ通信 32kPIAFS	
フレックスチェンジ方式	データ通信 フレックス チェンジ	

アクセスポイントに接続すると、画面に通信時間が表示されます。

2 パソコンから切断操作をする

ご注意

- 本電話機をパソコンと接続してパソコンでデータ通信を行っているときに、電話機単体でのインターネット接続はできません。
- 電話機単体でインターネット接続やEメールの送受信を行っているときは、本電話機をパソコンと接続してのパソコンでのデータ通信はできません。
- データ通信で発信するときに、料金分計サービスを利用することもできます。「料金分計サービスを利用する(有料)」(※7-60ページ)

パソコン接続中に着信する

本電話機をパソコンと接続しているときに、データ着信があった場合、着信操作はパソコン側で行います。

1 着信音が鳴る

発信元の電話番号が表示されます。「データ通信で発信する」(※5-18ページ)
公衆モードで設定した着信音が鳴ります。「着信音を設定する」(※2-39ページ)
着信ランプが点滅します。

2 パソコン側でデータ着信の操作を行う

通信が開始されると、画面に通信方式の種別がアイコンと文字で表示され、通信時間が表示されます。

お知らせ

- 本電話機が「ダイヤルロック」・「リモートロック」されているとき、パソコン側からの発信および通信モードの切り替えはできません。ただし、「ダイヤルロック」されているときは、データ着信は受けられます。「ダイヤルをロックする(ダイヤルロック)」(※6-8ページ)
- USBケーブル(別売)未接続のときにデータ着信があった場合、不在着信となり待ち受け画面にが表示され、リマインダーが点灯します。
- 「安全運転モード」が設定されているときにデータ着信があった場合、不在着信となり待ち受け画面にが表示され、リマインダーが点灯します。

データ通信中の着信を設定する

データ通信時に、電話がかかってきたときに、それを受けるかどうかを設定します。PIAFS通信(音声通話も含む)とパケット通信のそれぞれについて設定することができます。

PIAFS 通信中の着信を設定する(音声、PIAFS通信中着信)

PIAFS方式での通信中に電話がかかってきた場合についての設定です。設定方法は、「通信中の着信を設定する」(※2-7ページ)と同じです。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています(通信中の着信を受けます)。
- 「音声、PIAFS 通信中着信」が「ON」の場合、画面には着信の種類に応じて次のメッセージが表示されます。
音声着信(通常の電話)の場合→「着信がありました」
Eメール自動受信着信の場合→「センターにEメールがあります」
データ着信の場合→「データ着信がありました」
位置情報通知着信の場合→「位置情報通知着信がありました」
なお、SMSは受信不可となります。

パケット通信中の着信を設定する（パケット通信中着信）

パケット方式での通信中に電話がかかってきた場合についての設定です。

1 待ち受け画面で   

2   ▶  または 

パケット通信中の着信が設定され、「設定しました」と表示されます。

-  (ON) を押すと
パケット通信時の着信を受け付けます。
-  (OFF) を押すと
パケット通信時の着信を受け付けません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています（通信中の着信を受け取る）。
- 「パケット通信中着信」が「ON」の場合、本電話機をパソコンと接続してパケット通信を行っているときに音声着信、SMS受信、Eメールのバックグラウンド受信、データ通信着信が可能です。ただし、本電話機での通信が優先されるため、パソコン通信中に本電話機側で着信動作があるとパソコン通信は切断されます。通信のタイミングによっては着信できない場合もあります。